

反原発

反失業

Workers

NoNuke Unite

Since 2008

第125号

2019年3月

月刊誌「たみとや」

目黒区南1-24-14

03-6662-8205

♪ご寄附お待ちしております♪

「安全」にやる気はない！？ 一体、誰のためのオリンピック！？ 2. 12オリンピック組織委員会訪問記

引き延ばされた面談日

昨年10月末、署名提出面談とともに申し入れた質問状8項目の回答は引き延ばされて2月12日。場所は家賃月4,300万円の虎ノ門ヒルズ、会議室名は、前回「シドニー」から今回「北京」。

再度の面談で明らかになったこと

6人のチームワークで追い詰められて明らかになったのは、「安全に」、「都民、前項・世界から来る人のために」やるのではないことと、福島に怒りと世界で強まる疑念を恐れていること。



「安全」にやる気はない！

攻防の中心は質問前半の放射能汚染対策。行政の業務なので競技場・聖火リレーコースのモニタリング・除染・選手へのガイガーカウンターの配布は一切やらないと宣言。

利いた！「都庁によれば」

先月、立ったままながら引き出した都庁回答が効を奏した。「都庁によれば競技場は組織委、他県はその自治体の責任」「特に聖火リレーの出発点はJビレッジ。汚染は大丈夫か」先方はひるむ。

6人の波状攻撃

「国の汚染計測の齟齬は次々明らかになってる」「組織委が自ら発信しなければ危ない」「安全という根拠は何か」「測ったのか」「海外選手に後で提訴されたらどうするのか」先方「施設は借りるだけ」。

繰り返し始めた「この面談は特別で」

放射能対策で追い詰められた先方は「署名提出で特別にお会いしたのであって、基本は面談しない。これ以上の質問は、電話やメールで問い合わせ願いたい」と言い始め、この後、これを繰り返す。

ホームページも見てください♪「たみとや日誌」と検索：<http://tamitoya.web.fc2.com/>